豊海小だより

９月号
令和５年９月１日
中央区立豊海小学校
電　話：03-3534-1251
ＦＡＸ：03-3531-2265
校長　村上　隆史

考える力、判断する力、表現する力

校長　村上　隆史

東京都心の猛暑日の日数が過去最多となったほか、台風６・７号が日本列島に大きな影響を与えるなど異常気象が顕著になってきたことを強く感じる夏となりました。また、８月 22 日には北海道で小学２年生の児童が熱中症とみられる症状で亡くなるという痛ましい事故がありました。９月を迎えたとはいえ、まだまだ暑い日が続くことが予想されています。十分に注意しながら教育活動を進めてまいります。

さて、この夏は住吉神社の大祭が５年ぶりに実施され、子供たちだけでなく、保護者の皆さまも神輿を担いだり、お手伝いを担われたりして、久しぶりのお祭りを堪能された方も多かったのではないでしょうか。また、４年ぶりに開催された勝どき西町会の盆踊り大会も大盛況でした。何よりも子供たちの笑顔が見られ、ようやく本来の夏休みが戻ってきたことを強く実感した瞬間でした。

それぞれのご家庭においてはどのような夏休みを過ごされたでしょうか。私は、地元である関西に帰省し、甲子園で高校野球を観戦しました。慶應義塾高校が実に 107 年ぶりに優勝して幕を閉じ、自分たちで考えながら行う「シンキングベースボール」や「エンジョイベースボール」を掲げて話題になりました。また、頭髪が自由というのも時代が変化してきたことを実感する機会にもなりました。私自身も 30 数年前の元高校球児ですが、当時は丸刈りが当たり前、水は飲んではいけない、監督やコーチの指導は絶対であるなど、昔のことを思い起こしていました。

学校教育においては、目の前の事象から解決すべき課題を見いだし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すことなど、正に自分で考え、判断し、表現する力（思考力・判断力・表現力）の育成が求められているところです。

本日から２学期の学校がスタートしましたが、一人一人の児童がこれらの力を身に付けられるよう、保護者や地域の皆様のお力添えをいただきながら、教職員一同努めていきたいと考えています。子供たちが充実した２学期が過ごせますよう、保護者・地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

今月の目標

生活目標：安全な生活をしよう。すすんであいさつをしよう。
保健目標：生活リズムを整えよう。
給食目標：すききらいをしないで残さず食べよう。

９月の予定

日	曜	行事予定
1	金	始業式　午前授業 宇佐美出身校学習④
2	土	土曜授業 避難訓練（引き渡し訓練） 11:10～12:10
3	日	
4	月	委員会⑤　給食始　うみかぜ始 身体計測（6年）
5	火 B	保護者会（3･4年）　身体計測（5年） 夏休み作品展始
6	水 B	保護者会（1-4･2･5年） 身体計測（4年）
7	木	身体測定（3年）
8	金 B	保護者会（1 年（1－4 除く）） 身体計測（1 年）　西湖説明会（6年）
9	土	
10	日	
11	月	クラブ⑤　身体計測（2年）
12	火	
13	水 B	教育センター教室（4年1･2組）
14	木	教育センター教室（4年3･4組） りぷりんと（2･5年） 夏休み作品展終
15	金 B	プール納め セカンドスクール事前検診（4 年） 教育センター教室（4年5組）
16	土	中学校学校説明会
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	セカンドスクール（4年）
20	水 B	セカンドスクール（4年）
21	木	りぷりんと（3･4年） ブックトーク（2年）
22	金 B	5時間授業（2･3･4年） 豊海塾①
23	土	秋分の日
24	日	校庭開放日
25	月	クラブ⑥
26	火	
27	水 B	
28	木	りぷりんと（1･6年） オリパラ教育（車いすバスケット）（5 年 2･3時間目）
29	金 B	5 時間授業
30	土	

道徳教育について

道徳科

１０月１４日（土）に学校公開・道徳授業地区公開講座を実施します。全学級が道徳の授業を公開し、保護者・地域の方と一緒に心の教育を考える大切な機会です。詳しくは、改めて手紙でお知らせいたします。

道徳が「特別の教科」として教科化され、「あゆみ」においてもお子さんの記録を記述しております。ここ３年間は新型コロナウイルス感染拡大防止により、道徳の授業を参観いただいたり、協議会を設けたりする機会が少ない状況でしたが、今年度は道徳の授業の参観を通して、ご家庭で一緒に考え、話し合う機会にしていただければと思います。

5 年林間学校について

５年生

「都会では味わうことのできない、たくさんの自然を楽しみたいです。」

宿泊学習１日目の出発式での代表児童の言葉です。都会と変わらず、それ以上の暑さを感じる３日間でありましたが、赤城山や小鳥のさえずり、蝉の大合唱が響き渡る自然に囲まれた宿舎での生活は、都会で味わえない多くのものを経験できたのではないでしょうか。

２日目は、飯ごう炊飯体験をしました。火を起こし、そこから米が炊けるまで鍋や薪を見守りました。スイッチ一つで炊き上がる米とは違った味がしたと思います。夜の「赤城 DE ナイト」では、レクリエーション係が中心となり、様々な催し物を計画しました。発光リングを付けながらのダンスで幕を開けたレクリエーションは、大盛り上がりでした。

竹とんぼ作りに挑戦した３日目。刃の使い方を講師の方に細かく説明していただき、羽の角度に気を付けながら製作を進めました。赤城に広がる青空を目がけて、何度も何度も竹とんぼを飛ばす姿が見られました。

３日間で味わったものをそれぞれの今後に生かすとともに、最高学年である６年生に向けて新たな目標をもつ機会としてもらえればと思います。

管楽器クラブについて

音楽専科

管楽器クラブは今年度、４年生から６年生まで７５名の部員で練習をしています。５月には体育学習発表会で演奏の機会いただきました。夏休みも練習を重ね、８月末にサマーコンサートを実施しました。卒業生やゲストティーチャーも参加し、楽しい時間を過ごすことができました。今後も、区の行事や校内コンサート、東京都の演奏会に向けて、気持ちを一つに素敵な音色を奏でられるように、そして自分たちだけでなく聴いている皆様にも楽しんでいただけるよう、努力していきます。